

寄贈品コーナー展示 平塚空襲展

2011年

会期：7月30日(土)～9月8日(日)まで



空襲被災地図 須賀地区

昭和20年(1945)7月16日の夜、平塚はB29爆撃機133機による空襲を受けました。投下された焼夷弾本数は447,716本、死者はわかっているだけで328人以上にのぼります。

平塚市博物館では「平塚の空襲と戦災を記録する会(以下、「記録する会」と略)」において平塚空襲について聞き取り調査や資料収集を進めています。

「記録する会」では、昨年、これまでの調査成果を夏期特別展『市民が探る平塚空襲—65年目の検証—』において発表しました。

今回の寄贈品コーナー展示では、この特別展で展示された「記録する会」の調査成果や空襲被害写真、その他空襲関係資料を展示、紹介いたします。



空襲被災後の平塚市街